私の町の楽しいニュース
フォーラム forum
NEW マルコシ宣言 Nothing NO!
わたしの町のフォーラム　3万2000世帯へお届けしています
URL:http//www.marukoshi.jp
マルコシ リフォーム 検索
■豊かな街づくりを願って、安心創造企業「マルコシ」がお届けしています。
■配布地域／安佐北区　中区　東区
■年４回発行。
●編集・発行／マルコシ・フォーラム編集室
〒739-1731 広島市安佐北区落合4-1-7　☎843-9981

自省・自戒
みずからかえりみ　みずからをいましめる

マルコシ流DIYのすすめ

木原　淳（マルコシ代表取締役）

DIYの定着

お金を出せば高品質な完成品が入手できる世の中で、既製品にこだわらず自分らしさを求める人たちが、急増しているようです。それはかつての「日曜大工」ではなく、「DIY」として認識されるようになったようです。それは「こだわり」「個性化」とも言われているようです。

お父さんは大工仕事に特化しがちですが、女性の多くは「プチ」がお好みです。トップスリーは①可愛いフック、②蛇口やシャワーヘッド、③照明器具です。

女性らしさ

プチDIYから派生して小さな飾り棚からペイントまで、ささやかな暮らしの変化に意欲が高まっているようです。子育てを終えてほっと一息の熟年女性は、自分でやれば安く出来るというよりも、自分らしさやこだわりが暮らしの周囲で生まれることを喜んでいます。五十～六十歳代は意外にも楽しさ、ワクワクなどが、心を捉えているようです。マルコシではお客様のニーズをしっかり把握して、きちんとアドバイスできるようにしています。どんなことでも気軽にどうぞ！

オレンジフェスタ

五月二十七日の土曜日には、十一回目の『オレンジフェスタ』を開かせていただきます。特に今回は熟年女性のニーズに応える企画を用意してお待ちしております。映像やサンプル商品なども用意してより分かりやすくご説明します。

特に照明器具は暮らしを便利に安全にします。使い方によってはとてもお洒落になり、住む人のセンスをうかがわせます。おとくで便利なLEDは省エネ・長寿命、調色・調光、小型・軽量、虫が集まりにくいなど、たくさんのメリットがあります。

～木の香りと暮らしたい～
第三回　日本人の誇り「檜」の文化

檜と日本人

「杉は船を造るのによい。槙は棺を造るのによい。そして檜は宮殿をつくるのに最も適している」。これは現代においても同様であると考えられています。古来より日本人と檜には、用途を考えた言い伝えがあります。「ひのき」はまさに「火の木」と称されるように、擦り合わせると火が起こせるというところから、その名称が付いたともいわれています。

〝檜舞台に立つ〟などの表現で伝えられる檜舞台とは、江戸時代の歌舞伎に由来します。その当時から檜は高価な建築材であり、檜造りが許されるのは幕府公認の舞台だけでした。そこに立つことは一流の役者であることの証明でもありました。

檜

大黒柱にする

日本の木には魂が宿るといわれています。それを「木魂（もっこん）」と呼びます。神様がそれぞれの木を通して人間を守り、育んでくれます。住まいに使う場合は、木の魂に感謝を捧げ、伐採します。大黒柱になる檜は、樹齢およそ八〇年～一〇〇年。伐採されて第一の人生は終わりますが、そこから檜の第二の人生が始まります。その後は何百年もの長い年月を生き続けるのです。昔の人たちは檜の持つ不思議な力を経験的に知っていて、檜をふんだんに使う文化を花咲かせました。

世界の文化遺産

世界文化遺産に指定された法隆寺は、六〇七年（推古一五年）に推古天皇と聖徳太子が奈良・斑鳩の里に開いたお寺。その五重の塔は建立から一三〇〇年以上を経て今もなお建ち続ける世界最古の木造建築です。それを可能にしたのが檜でした。その佇まいに一三〇〇年という時間の重みを感じることが出来ます。西伽藍には圧倒的な迫力で五重の塔と金堂が並んで建っています。この金堂にある立派な一枚板の扉は、飛鳥時代の檜だといいます。

法隆寺はこれほど長い年月を耐えて残った理由は、檜を使っているからだといいます。昭和の法隆寺大修理では、全体の六五パーセントが一三〇〇年前の檜をそのまま使うことが出来ました。この大修理のとき、垂木などの軒を支える檜材は屋根の重みで曲がり、垂れ下っていました。ところが上に載っていた瓦や屋根土を降ろしたところ、徐々に木が上がりはじめ、数日後には元の姿に戻ったという話です。

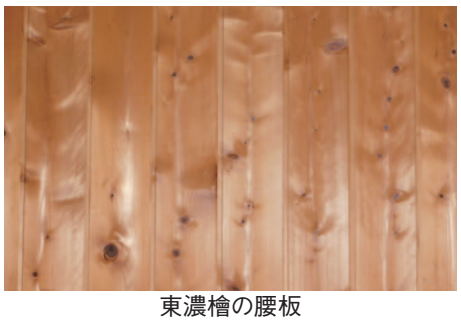
法隆寺　五重塔

総檜風呂

檜の家の効果

総檜造りの家や檜風呂は、そこに住む人々に心地よい安らぎを与えてくれます。それは森林浴をしたと同じようなフィトンチッドを放出し、リラクゼーション効果をもたらしてくれるからです。檜の家が家族の健康と安全にとって最良であるといわれるのもそのためです。檜はフィトンチッドの含有率が高く、伐採後も発散し続けます。

昔から「檜の家に住むと風邪をひかない」「当分は蚊がやってこない」などの伝説があります。これは檜の精油部分に自分のみを守る効能があり、伐採された後もその力を持続。五重の塔が一三〇〇年以上続いている秘密もそこにあります。



東濃檜の腰板

美しい柱が見える空間

いまどきでは数少なくなった構造体の柱を見せる和室。檜の柱だからこそ強さとやさしさを感じることが出来る空間が、そこにはあります。昔から一家を支える柱が大黒柱と呼ばれていたように、家の中心で住まいを支える重要な大黒柱。お客さまにお薦めするのですが、とうから無縁の存在になっています。

それでも檜羽目板、檜縁甲板、檜腰板などは部分的にお求めいただけます。本物の肌触り感が違う無垢材。冷たすぎず、人の温もりを受けとめる無垢材は、居心地のいい空間には欠かせません。よい材料は決して安くありません。建築コストは安いに越したことはありませんが、百年で計算するとむしろ割安になります。いつの日が総檜造りの家をご注文いただけると嬉しいですね。日本の住宅文化を継承したいと思います。

人生を豊かにする『菜根譚』の言葉

第一章　人間関係を良好にするための作法

■人から受けた恩を忘れるな　人に施した恩は忘れたほうがいい
（前集・五一）

■見返りを要求するようでは　どんな施しも値打ちがなくなる
（前集・五二）

■どんな相手でも、うかつにほめたりけなしたりしないほうがいい
（前集・一三一）

■気が回らないのもよくないが　配慮をはからかせすぎるのもよくない
（前集・四一）

■寒冷な地に植物が育たないように　冷たい心の持ち主は幸せになれない
（前集・七二）

■濁のなかにいても清らかさを持っていること
（前集・二四）

■叱るときには、同時にほめ言葉を付け加えること
（前集・二二一）

■功名を求めない。大過なく過ごせることこそが何よりの幸せ
（前集・二八）

■生きているうちは、広く大きな心をもって生きる
（前集・一二）

第11回 オレンジフェスタ

一緒に創ろう楽しい暮らし
「見る」・「知る」・「創れる」オレンジフェスタ

5月27日(土) 午前10時～午後4時
㈱マルコシ本社1階～4階&駐車場（安佐北区落合4-1-7 ☎843-9981）
社員一同、心を込めてお役に立たせていただきます。ご来場を心よりお待ちしております。